



☆☆☆ 2020年が幕開け ☆☆☆



新年明けましておめでとうございます。15日間の冬休みもあっという間に終わり、学校に子どもたちの明るい笑顔と元気な声が戻ってきました。新しい年を迎え、いよいよ3学期のスタートです。冬休みの間、子どもたちは幸い大きな事故やけがもなく、楽しく過ごせたようです。ご家庭でのきめ細やかなご指導に感謝いたします。保護者の皆様には昨年に引き続き、本校教育活動へのご支援・ご協力をお願いいたします。

＜始業式での詩の朗読＞ さて、本で行われた始業式の中で、子どもたちに2学期の終業式で話した約束（お手伝いをする・年末年始の挨拶をする・今年1年の目標を決める）ができたかどうかを尋ねてみました。お手伝いや年末年始のあいさつはできた子がほとんどでしたが、今年目標についてはまだ決めていない子が多かったように思います。新しい年、新しい学期がスタートした今、自分の夢や目標を考えるのにはとてもよい機会です。じっくりと考えて、決めてほしいものです。「こどもタイムズ」（福井新聞1月5日号）に掲載されていた他校の児童の新年の抱負を紹介しましたが、本校の子どもたちの新年の決意がこのあと聞けることをとても楽しみにしています。

また、谷川俊太郎さんの詩集『すき』から「わたしがたねをまかなければ」を読んで（幸小を白山小に変えて）、3学期は次年度への準備をする期間だということをお話しました。3学期は1年で最も短い学期です。登校する日は1～5年生が51日、6年生は47日です。あと3か月で6年生は中学校へ進学し、それぞれの学年は1つ上の学年に進級します。今年一年間の目標を達成するために、この3学期に自分は何をすればいいのか、しっかり考えて、行動に移してくれることを期待したいです。子どもたちのやる気は朝の挨拶や授業中の姿勢、掃除の様子に現れますので、がんばっている子どもたちの姿を楽しみにしたいと思います。

わたしがたねをまかなければ
谷川 俊太郎

わたしがたねをまかなければ
はなは ひらかない
ぼくが あしをふみだすとき
みちは かぎりない
じぶんで かんがえ
じぶんで はじめ
幸小のわたしたち

わたしがあすを あきらめたら
あさは もうこない
ぼくがほしを みつめるとき
そらは かぎりない
あせらず こつこつ
ねばって やりぬく
幸小のわたしたち

ひとりが うたを うたいだすと
こえは こだまする
ひとりひとり てをつないで
ゆめは かぎりない
みんな なかよく
ちからを あわせる
幸小のわたしたち

この3学期は、大きな行事として学校公開（2月15日）、卒業式（3月17日）、修了式（3月24日）を予定しています。また、次の学年に進級するための学力充実や冬場の体力増強にも力を入れていきたいと思っておりますので、ご家庭でも子どもたちを温かく励ましていただきますようお願いいたします。